

## 〔1〕 目指す学校像

建学の理念『世に役立つ人物の養成』をめざし、校訓とする『誠実』で『不撓不屈の精神』を有した人物を育成する。世の中の役に立たなければ幸せとは言えない。また、「自学」「自律」「勤労」を指導目標の3本柱として心の教育を実践する。生徒が生き生きと学校生活を送り、マナーの改善や豊かな人格を形成し、人間的成長につながり、幸福につながることを体得させる。また、身近な地域社会から泉州全域に建学の理念を啓発浸透させ、時代の要請と社会が必要とする学校へ発展し、大阪南部地域から、近畿の教育機関として、ゆるぎない確固たる地位を確立したい。

さらに、教職員、生徒、保護者も含め建学の理念を自らの心として誇りを持って3ヶ年でどのように実践し、地域社会を支え、地域社会から広く世の中を支える学校を目指し、社会状況に影響されない、訪れるだけでも、楽しい・明るい・心ある学校創りに努力する。

## 〔2〕 中期的目標（学校ビジョンとして）

### 1. 学習指導領域

どのような教育も人間の幸福につながるものでなくてはならない。心の持ち方で生き方も変わる。感謝する心、生命を尊ぶ心、思いやりの心など、人間として最も大切な心を育むため、すべての教育活動を通して「心の教育」を重視する。その実践として、勤労教育の充実と実践に取り組む。

- (1) 勤労教育の実践
- (2) 教科教育活動の充実
- (3) カリキュラム改訂案の策定

### 2. 生徒指導領域

学習指導も生活指導も同じく、人間の幸福につながるものではなくてはならない。人間として最も大切な心を育み、その心の反映が人間の礼儀と節度に表れることを指導し、挨拶の励行と人間としてのマナーなどについて、心情化し、習慣化し、生活化を目指す。さらに現実の社会生活の中で、役立つ人物として用いられるためには、人に好かれること、信用されること、楽しい人であること、自分を律することの生活が未来を開くことを体得させる。

- (1) 「心の教育」の実践
- (2) 生徒指導の強化
- (3) 特別教育活動の充実
- (4) 教育相談の充実

### 3. 進路指導領域

各コース毎に設定している進路目標、「エキスパートコースは国公立大学・難関私立大、アドバンスコースは中堅私立大学、グローバルコースは文系私立大学、スポーツコースは特技を活かした大学への進学を目指す。」を達成するため、まず、自らの将来に対してしっかりした目標を持たせるための計画的な学習を設定する。また、これら多様な進路の目標を達成するために、教員がしっかりと授業研究、受験対策並びに就職者に対する公務員試験の研究など教育実践を行う。また、進路実績向上のための進学講座の充実を図り、授業との連携を図っていく。

- (1) 進路に対する目的意識向上を目的とした取組検討
- (2) 授業と進学講座の連動を研究
- (3) 系列大学との連携
- (4) 就職試験対策

#### 4. 教員の研修・研究領域

各コース目標を達成するための授業研究、受験対策並びに就職者に対する公務員試験の研究とそれに対応する教育を実践する。また、教科研究及び教科研修を実践する。教員の個としての資質を高め、集団として卓越した教職員チームを育てるとともに、共通認識を持って歩調をそろえられる教員集団を作るための研修会を企画・実施する。さらに、他校訪問を実施し、その成果を還元することにより教員の資質向上を目指す。

- (1) コース目標達成のための授業研究
- (2) 教員の資質向上、教員組織の活性化

#### 5. その他の領域

学校が社会の一員として存在するために、コンプライアンス、ガバナンスといった責任をしっかりと果たしていく。また、地域の小・中学校との交流をより深め、地域社会との協力関係を構築する。もちろん、保護者会や同窓会活動へ参画することにより、学校への信頼度を高めていく。

- (1) コンプライアンスの履行
- (2) 保護者会・同窓会との連携強化
- (3) 地域との連携強化と信頼関係構築
- (4) 学校施設・設備の改善に継続的に取り組む

#### [自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見]

(アンケートは、①肯定的、②やや肯定的、③やや否定的、④否定的と4つの選択肢を設定している)

#### 1. 学校運営全般に関して

建学の精神・学校の教育目標については、①と答えた生徒が17.8%、②と答えた生徒が50.1%、これは昨年度と比べて、やや上がっており、また、式典や集会での挨拶の度に校長から説明しているため、3学年の認知度が最も高い(①24.9%/②48.3%)となっている。③と④と回答した生徒が31.7%と、約3割の生徒が卒業まで意識しないという点は大きな課題である。保護者については、③+④で17.8%となっている。

教員と生徒との関係については、従前より「相談しやすい」「親しみやすい」と、生徒・保護者・教職員いずれも高い評価が見られたが、本年度も①24.5%②49.5%、計73.9%と高い評価となった。さらに昨年度①+②65.9%より8ポイントのアップとなった。これは、教員の丁寧な指導を、どの学年も目標として実践している成果と考えられる。保護者の評価も①+②で75.6%と高い数字を示している。

クラスは雰囲気良く楽しい(生徒:①45.8%②38.7%、計84.5% 保護者:①36.9%②45.0%、計81.9%)、商大堺に来てよかった(生徒:①26.7%②39.9%、計66.6% 保護者:①46.8%②36.9%、計83.7%)も高評価であるが、「商大堺に来てよかった」では、④と回答した生徒が11.2%、保護者が12.6%いる。また、他の数値は学年が上がるにつれ評価が高くなるのに比較して、この項目では④が1年生11.4%、2年生11.7%、3年生10.4%と同じ比率で回答があることも含めて、原因を探っていく必要がある。

#### 2. 教務関係・学習領域

「学習への取り組み」に対する生徒評価は自ら授業へ参加し、取り組んでいると感じている割合が①27.6%、②48.7%、併せて76.3%と高い評価をしているのに対して、学校全体としては、「授業は静かで落ち着いた雰囲気である」①13.3%+②33.6%=46.9%、「生徒は学習に良く取り組んでいる(他者評価)」①14.7%+②43.5%=58.2%と決して高くない。保護者評価による評価も同様の傾向が見られ、さらに教員では生徒が学習に良く取り組んでいる①+②の合計が39%と低い数値となっている。これはもちろん要求水準の違いによることもあるが、教員が授業の中でクラス

全体の授業への参加意識を引き出せずに、学習しようとする高い自己評価をしている生徒の期待に応えられていないという点も考えなければならないだろう。さらに分析するために、個々の授業評価等が必要である。

### 3. 生徒指導領域

「生徒はマナーを守り挨拶ができる（他者評価）」①17.0%+②44.0%=61.0%、③29.1%+④9.8%=38.9%、「生徒は校則を守っている（他者評価）」①12.8%+②39.6%=52.4%、③34.3%+④13.3%=47.6%、「校則を守って学校生活を送った／送っている（自己評価）」①33.4%+②44.7%=78.1%、③15.4%+④3.5%=18.9%となり、学習面と同様に自己評価が高く他者への評価が厳しい。校則に関しては、「規則など学校の決まりは妥当である」①17.7%+②38.6%=56.3%、③30.5%+④13.0%=43.5%という生徒が回答した一方、保護者は①+②で 83.1%が妥当と答えている。記述式回答から推察すると、「頭髪指導」「携帯持込み禁止」「自転車免許」に対する不満が妥当ではないとの意見に繋がっていると考えられる。しかし、校則の遵守度に関しては自己評価が 0.2%とほぼ横ばいであったのに対し、妥当性に関しては昨年度より 4%アップ、マナー・挨拶に関しては 2.4%、校則の遵守度に関しては他社評価 3%といずれも改善していることから考えても、校則の必要性を粘り強く啓発している効果があらわれていると考えられる。

学校行事は楽しく協力しあえている（生徒：①+②78.0% 保護者：①+②85.1%）、クラブ活動は活発である（生徒：①+②83.0% 保護者：①+②84.5%）と認識されている。これが、1.学校運営全般で記述した「商大堺への満足度」に繋がっていると考えられる。

### 4. 進路指導領域

ここでは、生徒に対する進路情報の提供は、（生徒：①+②79.7% 保護者：①+②63.0%）と十分に行われていると考えられるが、保護者への働きかけが弱いように感じる。これは、記述式回答にあったように、「2 学期末に懇談を希望する」、「教員ともう少し交流する機会を増やしてほしい」といったものが見られることに起因するのかもしれない。一方、進路を決定している割合は 1 年生：①+②49.6% 2 年生：①+②64.5% 3 年生①+②83.2%と、学年が上がるにつれて上昇しているが、3 年生で 15%以上が希望進路を見つけられなかった、もしくは達成できなかったということになり、今後の課題であろう。

進学講座や補習については、教員は十分に実施していると考えているが、保護者の評価が低いといった傾向は変わらない。夏期補習等の対象をグローバルコースにも広げ、進路指導部で集約するなどをして周知してきた効果はあるものの、実施の有無が教科任せとなっているので、もう少し組織的・計画的な取り組みをすることが必要である。

### 5. 教員研修

教員アンケートで「授業を工夫し、分かりやすく展開する努力がなされている。」①+②82.1%、「それぞれのコース目標にあった教育活動を展開している。」①+②67.9%と評価は比較的高い数値となっている。

### 6. その他

美化活動という面では教室以外の施設が業者による清掃であることにより高い評価を得ている。（①+②79.3%）、ただ、施設・設備については、トイレについては良いものの（①+②85.7%）、エアコンがその最たるものであるが、グラウンドの水はけ、体育館の換気、教室の窓や入口扉など校舎全般に厳しい意見が相次いでいる。また、食堂についても、生徒数に対して狭い、メニューが少ない、価格が高いという意見が多くみられた。学校生活の満足度という観点からも早急に対応すべき課題である。

### [3] 本年度の取組内容及び自己評価

#### 1. 学習指導領域

| 今年度の重点目標     | 具体的な取組計画・内容   | 評価指数 | 自己評価   |
|--------------|---|------|--|
| 勤労教育の実践      | a) 学習内容の充実<br>b) 教科活動への広がりを持たせる活動を研究                                      | A    | 勤労学習を総合的な学習として全生徒対象に、2年生週1時間実施した。この体験から自然の摂理を理解させ、物事の本質を理解する具体的な体験を通してその意味を理解させることができた。また、11月に実施した収穫感謝祭において、地域の方々への野菜の頒布を通じて、多くを学ぶことができた。  |
| 教科教育活動の充実    | a) コース目標に対して適切な教科教育活動の充実<br>b) 低学力者に対する学習指導の充実<br>c) 資格・免許取得を目的とした指導内容の充実 | B    | 学力向上員会を設置し、2年生をモデル学年とし、グローバル登校日の設定など、コース別に学力向上対策、学習習慣の育成などの対策をとった。その結果、模試結果の向上につながるるとともに、年度末の欠点者は大幅に減少した。簿記検定は、全商簿記検定を校内で2回実施。6月は15名受験、3級4名合格。1月は138名受験、3級合格25名であった。英語検定は、第3回を20名が受験し筆記試験準2級合格7名(41%)、3級合格2名(100%)であった。ただ、教科によって取り組みにばらつきがあり、教科主任会を通じて一定の流れを確立する必要がある。 |
| カリキュラム改訂案の策定 | a) 教育課程の検証  | A    | 平成25年度改定の学習指導要領に対応したカリキュラムに基づいて学習活動を展開。カリキュラムを一部改定するとともに、道德教育についてまとめを行った。  |

#### 2. 生徒指導領域

| 今年度の重点目標  | 具体的な取組計画・内容                               | 評価指数 | 自己評価  |
|-----------|---|------|---|
| 「心の教育」の実践 | a) 勤労教育の充実<br>b) マナー教育の推進<br>c) 挨拶の励行     | B    | 勤労教育については前述。校外での自転車マナー向上に向け自転車運転免許制度を導入、実施した。また、携帯電話の使い方についてのKDDI担当者からのマナー講座並びに女子生徒を対象としたマナー講座などを実施し、マナー向上に努めている。集会等、様々な機会を捉えて指導した。新入生には、宿泊リエンションや体育授業での集団訓練で集中的に指導した。校内での様子やアンケート結果をみると成果は挙がっていると考えられるが、生徒アンケートで9.8%の生徒が挨拶ができていない、14.3%の生徒が校則を守れていないと回答していることからみると、まだまだ改善の余地がある。   |
| 生徒指導の強化   | a) 校則の遵守<br>b) 遅刻指導の強化<br>c) 自転車通学の交通指導強化 | B    | 生徒指導部・学年を中心に校則遵守を粘り強く指導している。校門での遅刻指導は、授業が行われる日は欠かさず実施している。また、校外での通学指導も期間を定めて実施している。粘り強い指導の結果、懲戒件数は23年度49件66名、24年度41件68名、本年度39件59名と減少し続けている。ただ、スマートフォンの普及によるインターネット上の問題行動が増えており、次年度の課題となっている。遅刻指導は一定の成果を挙げつつあり、昨年度よりのべ約1,700回減少している。ただ、多くいる常習者については今後の課題である。校外での自転車マナー向上に向け自転車運転免許制度を導入、実施している。さらに交通安全については、西堺警察や阪和鳳自動車学校から講師を招いての講習を実施している。 |
| 特別教育活動の充実 | a) 生徒会活動の活性化<br>b) クラブ活動の活性化              | A    | 3月に和歌山県で生徒会役員と指導教員によるリーダー研修会を実施した。その嚆矢としてクラブ加入率の向上を方針としてあげ、新入生勧誘方法の工夫を提案している。新カリキュラム実施に伴いスポーツコースの授業「スポーツ演習」の内容を体育科で検討、充実を図っている。また、保護者会や生徒会の協力を得て、外部体育館利用など、クラブ活動の活性化に努めた。クラブ活動加入率は、依然として50%を越えない点がネックではあるが、クラブ活動が活発であるとアンケートに回答した生徒は、「やや活発」も含めると83%にのぼり、成果を挙げていると考えられる。   |
| 教育相談の充実   | a) 教育相談の充実<br>b) 学習障害生徒への対応               | A    | 保健委員会の活動が定着し、教育相談に関する内規を改訂した。各学年に担当者を配置することで心理相談員との連携がスムーズになり、生徒や保護者の要望に応えている。学期毎のサマリー作成や年10回の連絡会議など、保健委員会と学年間の連携が進み、充実した相談活動を行うことができた。開室日数45日、全面接回数171回、来室者数52名。   |

### 3. 進路指導領域

| 今年度の重点目標               | 具体的な取組計画・内容  | 評価指数 | 自己評価  |
|------------------------|--|------|---|
| 進路に対する目的意識向上を目的とした取組検討 | a) 総合的な学習内での進路学習を通じた進路意識の高揚<br>b) 進学実績の向上<br>c) スポーツコース成績優秀者への対策 | A    | 総合的な学習の中で1年次より計画的に進路意識の形成を意図したプログラムを実施している。総合的な学習での1年次の内容のうち進路に関するものは、「自己発見リサーチ」「職業別進路ガイダンス(分科会に分かれて)」など計11回。自主教材を多く用いて行ったため、本校生の実態に即したものとなった。学習合宿は2年生エキスパートコース生徒も対象とし、進路意識の早期形成を目指している。卒業生受験報告会は5/25、成績報告会は10/26(1年保護者)、11/2(2年保護者)に実施し、内容も大幅に改定し充実させた。進学実績では、コース別の目標設定などにより、国立大学合格2名、難関私立大学合格などの結果を出すことができた。スポーツコース成績優秀者対策としては、1・2年生3クラスのうち1クラスを学力重視クラスとして設定している。このクラスでは、希望者に早朝補習等を行い、学力向上に取り組んでいる。3年生は、進学クラスを設定していないが、進学クラスの先行モデルとして、早朝補習などの方策を行った。この中から国立大学、関西大学一般入試合格者を出すことができた。 |
| 授業と進学講座の連動を研究          | a) 進学講座の充実<br>b) 基礎講座の充実   | B    | 進学講座は、年間を通じて、計画的に実施できた。開講予定を毎月配付し生徒・担任などへの周知徹底を図るとともに、内容の充実を図っている。担任による働きかけもあり、参加者は増加している。エキスパートコースでは、クラスでのメモリータイム実施とのバランスを考慮して、適切に指導できている。授業との兼ね合いを考え、生徒の到達度に合わせた基礎講座も充実させて実施できた。ただ、通常授業との内容のすり合わせはできなかった。   |
| 系列大学との連携               | a) 系列大学リテラシーの充実  | A    | 進路指導部・第3学年を中心に系列大学へのオープンキャンパス参加やリテラシー活動を進めた。その結果、3大学への系列校進学を希望する生徒が100名を超えた。最終的な進学数は、大阪商業大学94名(合格者数96名)、大阪女子短期大学8名(同8名)、神戸芸術工科大学3名(同3名)となった。卒業生374名に対する割合は、28.1%。   |
| 就職試験対策                 | a) 新規就職先の開拓<br>b) 公務員試験対策の実施                                     | A    | 進路指導部による企業訪問の回数を増やした結果、求人票も増加している。グローバルコースの新カリキュラムで進路対策用の選択授業実施に向け、各教科で準備を始めている。進路指導部による企業訪問は29社。就職説明会は5月、6月、7月と3回実施。求人数は、昨年度92件から136件へと増加した。斡旋による就職受験は13名、うち10名が内定を得た。   |

### 4. 教員の研修・研究の領域

| 今年度の重点目標         | 具体的な取組計画・内容                        | 評価指数 | 自己評価  |
|------------------|------------------------------------|------|---|
| コース目標達成のための授業研究  | a) 外部での教科研修会への積極的な参加<br>b) 研究授業の実施 | B    | 予備校での教員対象講座報告会を、12/2に実施し、教科教育力向上に努めた。また、3月には春季講座にも参加した。次年度は、報告会から研究授業とする方向で検討中。   |
| 教員の資質向上、教員組織の活性化 | a) 公開授業の実施<br>b) 教員研修会の充実          | A    | 中高連傘下の各種研究会に積極的に参加、研鑽を積んだ。また、昨年度に引き続き先進的取り組みを行っている高校の視察を行った。本年度は、岡山学芸館高校、神奈川県三浦学苑高校に計5名を派遣した。学校改革の過程、方法論や教科への取り組みなど多くを学び、教員研修会で発表した。全教員による公開授業第1回を6月に実施、第2回を11月に実施し、授業運営等の改善の機会とした。この他に、予備校での教員対象講座報告会を、参加教科で実施した。8月と3月に研修会を実施し、学校訪問報告、いじめ防止対策推進法の概要、入試から見る本校生分析などについて共通理解を持った。 |

## 5. その他の領域

| 今年度の重点目標           | 具体的な取組計画・内容  | 評価指数 | 自己評価  |
|--------------------|--|------|---|
| コンプライアンスの履行        | a) 法令遵守の履行<br>b) 学校情報管理体制の強化<br>c) ガバナンスの推進  | C    | 個人情報保護、いじめ防止対策推進法案に対する方策などコンプライアンスに努めている。また、考査毎に答案管理の徹底を呼びかけるなど情報管理を徹底していたが、年度末に個人カード紛失事案が発生した。これを機に再度、管理体制強化策を検討、実施している。この際も、報道機関に早期にニュースリリースするなど、アカウンタビリティを果たしたと考えている。ガバナンスの推進としては、校長が示す学校基本方針に基づき、引き続き各分掌・教科等で企画した具体方策を、運営委員会・職員会議で討議することにより集団として意思決定や合意をし、学校運営している。       |
| 保護者会・同窓会との連携強化     | a) 保護者会行事への積極的参加<br>b) 保護連スポーツ大会の実施継続<br>c) 保護者会に授業公開推進<br>d) 学校評価アンケートへの保護者会への協力依頼<br>e) 同窓会活動の充実・活性化 | B    | 7/6(土) 京都方面への社会見学に教職員5名が参加した他、総会、講演会、常任委員会などすべての行事・会合に出席した。保護連スポーツ大会は10/27(日) 予定通り実施。天候にも恵まれ、ソフトボール、バレーボールともに順調に行われた。本校教員、クラブ員も協力した。保護者会から要望のあった授業公開については、検討できていない。平成24年度アンケートの結果を基に保護者会常任委員会で意見を頂き、まとめの参考とした。2月に保護者・生徒へ平成25年度アンケートを実施した。同窓会定例会へ、教職員が参加。文化祭では、同窓会が展示で協力して頂いた。 |
| 地域との連携強化と信頼関係構築    | a) 地域美化活動への協力<br>b) 地域小学校・幼稚園への支援強化<br>c) 地域行事への参加・協力  | A    | クラブ員220名による地域清掃活動を5/12(日) 実施、その後同じくクラブを中心とする月1回の地域清掃活動を実施中。10/16(水) 堺市小学校連合運動会に2年生スポーツコース研修旅行残留生徒がボランティアとして参加し、記録、会場整理等協力した。これに向け10月に地域小学校を対象とした競技実技指導を実施した。堺市からの依頼を受け8/24(土) に中区区民フェスタにダンス部が参加した。  |
| 学校施設・設備の改善への継続的な取組 | a) 教室・体育館の増設<br>b) 視聴覚室の機器更新<br>c) カウンセリングルーム防音対策<br>d) 防球ネット増設  | B    | 9教室を持つ新校舎(西館)が完成し、平成26年運用開始に向け準備を進めた。グラウンド外への飛球防止措置を行い、近隣住民との円滑な連携並びに通行人に対する危険防止のため、補正予算措置を講じ、工事を完了した。カウンセリングルームの防音工事を行い、プライバシー保護を達成した。体育館については、検討が進んでいない。  |

評価指数は5段階で示している (A: 良い→E: 悪い)